

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 5 年 2 月 14 日(2023.2.14)

【公開番号】特開 2022-105041(P2022-105041A)

【公開日】令和 4 年 7 月 12 日(2022.7.12)

【年通号数】公開公報(特許)2022-126

【出願番号】特願 2022-67170(P2022-67170)

【国際特許分類】

H 0 1 Q 1/32(2006.01)

H 0 1 Q 1/52(2006.01)

H 0 1 Q 1/22(2006.01)

B 6 0 J 1/00(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 Q 1/32 A

H 0 1 Q 1/52

H 0 1 Q 1/22 C

B 6 0 J 1/00 B

【手続補正書】

20

【提出日】令和 5 年 2 月 4 日(2023.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電動機を駆動源とし、前記電動機用の補機用バッテリーを備えた自動車に設置されるガラスアンテナシステムであって、

30

リアガラスと、

当該リアガラスの表面に形成されるガラスアンテナと、

を備え、

前記ガラスアンテナは、

F M アンテナ素子と、

前記 F M アンテナ素子と容量結合され、複数の加熱線を有する加熱ヒータと、

を備え、

前記加熱ヒータは、前記補機用バッテリーと接続され当該加熱ヒータに給電を行う陽極バスバーと、車体アースに接続された陰極バスバーと、を備え、

前記補機用バッテリーと前記陽極バスバーと間には、コイル素子を含む前記 F M アンテナ素子のためのノイズフィルタが設けられ、前記陰極バスバーと前記車体アースとの間にはノイズフィルタが設けられていない、ガラスアンテナシステム。

40

【請求項 2】

前記自動車は、内燃機関と前記電動機とを駆動源とするハイブリッド車両である、請求項 1 に記載のガラスアンテナシステム。

【請求項 3】

前記ハイブリッド車両は、前記電動機用の駆動用バッテリーを有する、請求項 1 または 2 に記載のガラスアンテナシステム。

【請求項 4】

前記ハイブリッド車両は、前記駆動用バッテリーの電圧を前記補機用バッテリーに適した電圧

50

に変換する D C - D C コンバータを有する、請求項 1 から 3 のいずれかに記載のガラスアンテナシステム。

【請求項 5】

前記 D C - D C コンバータは、前記ハイブリッド車両の後部に配置される、請求項 1 から 4 のいずれかに記載のガラスアンテナシステム。

【請求項 6】

前記 D C - D C コンバータは、F M 帯域の電波を発信する機器である、請求項 1 から 5 のいずれかに記載のガラスアンテナシステム。

【請求項 7】

前記 D C - D C コンバータは、駆動により発生するノイズの中心周波数  $F$  が  $76\text{ MHz} \leq F \leq 108\text{ MHz}$  を充足する、請求項 1 から 6 のいずれかに記載のガラスアンテナシステム。

10

【請求項 8】

前記ノイズフィルタはコイルである、請求項 1 から 7 のいずれかに記載のガラスアンテナシステム。

【請求項 9】

前記コイルのインダクタンスは  $0.5 \sim 5.0\text{ }\mu\text{H}$  である、請求項 1 から 8 のいずれかに記載のガラスアンテナシステム。

【請求項 10】

前記リアガラスの表面において、前記 F M アンテナ素子に給電を行う給電端子は、前記陰極バスバー側に配置されている、請求項 1 から 9 のいずれかに記載のガラスアンテナシステム。

20

30

40

50